第4時

- (1) 目標
 - ・夏休みのことについて、訪れた場所や食べた物、楽しんだことや感想などを聞いたり言ったりできる。

		学習活動	・指導上の留意点	準備物等
		reeting & 1 Question	・全体の挨拶の後、2グループに分かれ、JTE/ALT とそれぞれ挨拶&1 Question (既習表現の定着を図る もの)をする。 ※コミュニケーションを円滑にする要素の指導(皿)	
	2 Ir	ntroduction	・過去形を用いたやり取りを、児童を交えながら行う。	前時のワークシート
事へつか		JTE: Last time, you listened to the m Do you remember? (ALT), give ALT: O.K. Where did Mr. Ogo? C: Aomori! ALT: That's right! You remember w C: He went to Aomori. ALT: Perfect! Then, what did he ea	ell. He went?	(Teachers' Summer Vacation)
		JTE: Very good! You know our (JTI teachers', too. So, today, let's try to talk about ALT: Remember your summer vacat		
	「友達 を話	y's Goal の夏休みの話を聞いたり,自分のこと したりしよう。」	※1対1のやり取り・発言の機会の確保(Ⅱ)・本時のめあてを提示する。・自分のことを話す活動にステップアップすることを視覚的に分かりやすく示す。※STEPS to the GOAL(I)	単元末の言語活動 本時のめあて
		et's Chant》p.35 ummer Vacation 2)	・初めに聞く観点 (どこに行ったか) を与えて,映像を 見せずに音声だけで聞かせる。	
		ALT: Did you catch some words? C: Went to the sea. ALT: Great. The first one went to the where did the second one go? C: Mountain? ALT: That's right. The second one ※関き取れた語句を発表させたら、関き取れなかった語句は、ここで	carefully. 音声を流す。 ne sea. ※黒板に絵カードを順に貼っていく。 Does anybody know? went to the mountains. 次は映像と合わせてもう一度聞かせる。	絵カード sea mountain river pool nice store センテンスカード went to ate enjoyed It was
	()キ	et's Play ・ーワードゲーム でを作って行う。	・繰り返しの表現(I You)を取り入れたキーワードゲームを行う。 ※コミュニケーションを円滑にする要素の指導(皿)	
	AL JT AL JT JT AL JT	形容詞の絵カード ※©…児童		

※児童の実態に応じてキーワードを2つ(I ate, cool)

にするなどして難易度を上げてもよい。 5 Let's Talk ・自分の夏休みのことについて話す。 ・マイクを回しながら、順番に話させる。 おもちゃのマイク JTE: Are you ready to talk about your summer vacation? Then, today's goal is "Let's listen and talk about your summer vacation." Pass the mike in clockwise order. The first one says "I went to $\underline{}$ " Next one says, \cdots ALT: "You went to ____ (アイコンタクト) I went to ____! JTE: Then, pass it to the next. Do you need thinking time? Any questions? ※自分のことを1文言い、マイクを回しながら一周する。 JTE: Second time, use another sentence. "I ate" or "I enjoyed" or "I saw". Talk in this order(counterclockwise). ・2周目は、1周目とは違う文を話す。 ・日本語による説明を減らし、やり取りやジェスチャー 等によって活動の進め方を理解させる。 JTE: Evervone good job! 自分が夏休みにしたことを話したり聞いたりすることができたね。 ○○さんは、きちんと相手の目を見て話していて、とても良かったです。 今日みんなが使った"I went to "You went to "は,誰かとコミュニケーション をとる時にぜひ使ってほしい表現です。相手が言ったことを, You を使って繰り返してあ 壁面掲示 げると、会話も続くし、「ちゃんと聞いているよ、伝わっているよ」というメッセージにな 《Good Communication》 るのです。 ※壁面掲示《Good communication》の活用 次回も、自分がしたことや楽しかったことなどについて、友達や先生と伝え合う活動をし ます。今日よりレベルアップした Good Communication を目指そうね。 ||※コミュニケーションを円滑にする要素の指導(Ⅲ) 開 30 《Let's Watch and Think2》 p.38 ・登場人物の名前を確認し、対話形式の話になっている デジタル教材 分 ・映像を見て、登場人物が夏休みにしたこと ことを知らせる。誌面の表を見せ、聞き取る必要があ などを表に書く。 る情報は何かを確かめさせる。 JTE: There are 3 children. Let's listen to their summer vacation. ALT: They are talking each other. Mark and Emma, Emma and Kosei. Look at your book. What do you write? C: したこと/感想 ALT: Yes. So, listen carefully what they did, how they felt. It was good, exciting, fun, etc. JTE: Let's listen to Mark and Emma. ※Mark と Emma の対話を聞かせ、聞き取れたことを書かせる。 JTE: Next, listen to Emma and Kosei. ・児童の実態に応じて、繰り返し聞かせたりALTが必 要な部分をゆっくり区切りながら読んだりするなどの 対応をする。 ※個に応じた対応・フィードバック(Ⅳ) JTE: Let's check the answers. ALT: Where did Mike go? Mike went to ...? C: Mountain? ALT: Good! He went to the White Mountains. And, he enjoyed ...? C: Hiking. C: "family"って聞こえた。 JTE: Great! I enjoyed hiking with my family. と言っていたね。 ALT: How was it? It was ...? C: Great. It was great. ... ・記述の状況を見ながら、全員とやり取りをし、答え合 わせを行う ※1対1のやり取り・発言の機会の確保(II) Reflection ・めあてに応じた振り返りの観点(友達や登場人物の話 振り返りシート 終末 ・振り返りシートに記入する。 を聞いて分かったか、自分の夏休みの思い出を言えた ※自己分析ができる (5分 か)を与える。 振り返りシート 8 Greeting **(V)**

第5時

- (1) 目標
 - ・他者に配慮しながら、過去の出来事について伝え合おうとする。

(4)	1日 分	<u> </u>	※金山スタンダード・英語Ver. o ・指導上の留意点	準備物等
	1		76 (7 = - 12 /2/////	
		《Let's Chant》p.35 (Summer Vacation 2)	・全体の挨拶の後、2グループに分かれ、JTE/ALT とそれぞれ挨拶&1Question(既習表現の定着を図る もの)をする。 ※コミュニケーションを円滑にする要素の指導(皿) ・難しい児童には、went to … の部分だけ一緒に言うよ うに励ます。	センテンスカード
導入 (7分)	ΓÉ	ALT: Let's practice. "Five little childrer ※ゆっくり,区切りながらALT JTE: O.K. Now let's try. ※児童の様子を見ながら,速さを JTE: Good. Oh, 1,2,3,4,5. There are Can you make your original chant' ALT: You are the first one. Where did C: I went to the amusement park. ※5人全員とやり取りをする。絵 JTE: Great! You made a new chant!	場所の絵カードを順に黒板に貼る。 n had good summer vacation" の後に続いて言わせる。 変えて何度か行う。 e 5 children here. ? you go in your summer vacation? . カードがあれば黒板に貼り、無ければ板書する。	単元末の言語活動 本時のめあて 壁面掲示 《Good Communication》
	3		かったこと,感想などを伝え合いますが,前回より,	
		2通りのやり取りをみて、《Good ommunication》のポイントに気付く。	良い例を示す。 ITE: では、どうすればレベルアップしたコミュニケーショできるようになるかな? ・実際の《Let's Listen》は、各人物のスピーチだが、繰り返し・質問等を踏まえた対話形式で聞かせる。	
展開 (33分)		ALT: We will show you 2 types of conversation. Which one is 《Good Communication》? Type A or B? Please watch and think. (Type A: Not Good Communication) <p.38 no.1=""> ALT: Hello, I'm John. JTE: Hi, John. ALT: I went to xxx. (touch the mouth) It was beautiful. I enjoyed swimming. It was fun. I ate shaved ice. It was cold. JTE: (Look for the matching picture.) Wellyou went here? (draw a line).</p.38>	ALT: Next, type B. (Type B: Good Communication) <p.38 no.1=""> ALT: Hello, I'm John. JTE: Hi, John. How was your summer? ALT: I went to xxx. (touch the mouth) It was beau JTE: Beautiful? ALT: Yes. I enjoyed swimming. JTE: Oh, you enjoyed swimming! ALT: It was fun. I ate shaved ice. JTE: Really? It's good. I like shaved ice, too! ALT: It was cold and delicious. JTE: You enjoyed swimming. You ate shaved ice. (Look for the matching picture.) I found it! You went here? (draw a line). ALT: That's right JTE: Thank you! ALT: You're welcome.</p.38>	
		JTE: A, Bどちらが《Good (C: B! JTE: Bのどこが良かったです C: 相手のことに反応しなが 前にやった繰り返しをし 相手が聞きやすいように	<i>τ</i> ν?	

展開(33分)	ん Let's は Let's は Let's 様にて	結 Talk Talk Lica Then, too It's secret If's secret	ica とや食べた物,感 ica とや食べた物,感 ica がどこに行ったの ica ica ica ica ica ica ica ica ica ica	と、食べた物などをヒントとする。3で確認したコミュニケーションのポイントを活用させる。 et's talk with your friends. xx. In September, in October, I went to xxx. on't say it. つ選んで書いてください。 使ってヒントを出してあげましょう。 cation》を意識してね。友達がどこに行ったのか当てられら何と言う? You? か、使える英語をどんどん使って質問しながら考えてくだなかったら、"Please tell me." と言って教えてもらって)とたくさん話してみよう。 ※1対1のやり取り・発言の機会の確保(II) ・JTEは、児童のやり取りを観察しながら必要な支援や励ましを行う。 ※個に応じた対応・フィードバック(IV)	《Good Communication》 ワークシート カレンダー センテンスカード I went to I ate I enjoyed It was
終末(・文字を指 6 Reflec ・振り返り	tion	よがら読んでみる。 - - - - - - -	ALT: So, A is not correct JTE: Now, let's try to read it aloud after (ALT). ※ALTが, 画面に写された日記の文字を指しながら読ませる。 JTE: Next, read it aloud on your book. ※教科書の文字を指でなぞりながら読ませる。 ・めあてに応じた振り返りの観点(自分がしたことや感想などを伝え合えたか,《Good Communication》のポイントを意識したやり取りができたか)を与える。	
	7 Greeti ワークシー rade UNIT5 N	- ト例		Name	(V)
	± +		🚺 l went	т и	
	達・先生				
行	った場所	" –			
			Really?	Aication》楽しく会話を続けてみよ Great! It's nice! You (a	

第6時

- ・修学旅行で訪れた場所や食べた物、楽しんだことや感想などについて、内容を整理して伝え合うことができる。

	拍特	1過程	※金山スタンダード・英語Ver. a	
		学習活動	・指導上の留意点	準備物等
	1	Greeting & 1 Qestion	 ・全体の挨拶の後、2グループに分かれ、JTE/ALT とそれぞれ挨拶&1Question (既習表現の定着を図る もの)をする。 ※1対1のやり取り・発言の機会の確保(II) 	
	2	Small Talk	JTEとALTによる、目標表現を使用したやり取り を聞かせる。	
			※コミュニケーションを円滑にする要素の指導(Ⅲ)	カレンダー
導入 (7分)		JTE: Great! You had nice weekend. ALT: Last month? I went to the U.S. JTE: Sounds good! Last month, they Yes, It's a school trip. They wer ALT: Oh, I see. Did you enjoy? (C: Where did you go? (C: I went to	as your weekend? k, I went to Sendai. ing? of my friend. Look at this! I ate cake. It was Well, how about last month? J.! I like It was r had a big school event. (C: 修学旅行!) nt to Aizu Wakamatsu in Fukushima. Yes!) o Tsurugajo.) What did you eat? (C: I ate) Please tell me more about your school trip.	
		oday's Goal を学旅行の思い出を伝えよう。」	・本時のめあてを提示する。単元末の言語活動に近付いてきたことが視覚的に捉えやすいように示し、コミュニケーションへの意欲を高める。	
			<pre>%STEPS to the GOAL (I)</pre>	
		Let's Review	・目標表現を言ったり聞いたりしながら復習させる。	絵カード
		ALTと一緒に既習の語や文を振り返る。	JTE: Let's review the words and sentences.	
	!	et's Chant 2 » p. 35 ive little children had a good <u>summer</u>	JTE: Next, let's chant together.	デジタル教材
	_	acation. The first one <u>went to the sea</u> .	・デジタル教材を使用してチャンツを行う。	
	- Li	he second one <u>went to the mountain</u> . he third one···	JTE: Now, let's change the words. Where did you go in your school trip?	修学旅行の写真
展			・児童とやり取りをしながら、修学旅行のチャンツを作り口慣らしをさせる。 ※1対1のやり取り・発言の機会の確保(Ⅱ)	
開 (33分)	· 催	My School Trip 多学旅行の思い出をホワイトボードに整理 ける。	・児童とやり取りをしながら、 <u>修学旅行で行った場所</u> や 食べた物などを挙げさせる。 ・実際に児童が体験したことや見学先等の写真を準備し ておき、自由に選択できるようにする。	センテンスカード went to ate enjoyed saw
		sentences. Remember about your enjoyed You ate You saw	u can use the cards. You can draw pictures.	lt was l bought
			 ・修学旅行で行った場所や見た物、食べた物や楽しんだこと、感想などを絵やカード、言葉(日本語も可)で表させる。 ・未習表現や質問への対応、戸惑っている児童へ個別の支援を行う。褒めて自信を持たせる。 	ペン
		JTE: You went to? C: Tsurugajo! JTE: You saw? C: えっと, 武士の写真がたくさんあった。 JTE: Oh, you saw pictures of samurai.	JTE: Oh, you ate <i>tempura soba!</i> C: Yes! JTE: How was it? It was? C: えっと, delicious! JTE: Good! So, you can add the 'delicious' card.	
	1		※個に応じた対応・フィードパック(IV)	

	Te lot's Talk	こぶ佐労佐仁の田い川について旧辛のギャ明ノ	1
	①ホワイトボードを使いながら、ALTに JTF:	『が修学旅行の思い出について児童の話を聞く。 Now, let's talk! When you finish, talk to him.	
	修字旅行の思い出を伝える。	I のやり取り・発言の機会の確保(Ⅱ)	
	 児童か応答・ 一ショ 	が一方的に話すのではなく、ALTは繰り返し・ ・質問などをしながら聞き、双方向のコミュニケョンになるようにする。 1 ニケーションを円滑にする要素の指導(Ⅲ)	
展	C: Hi, (ALT). ALT: Hi, OO. Please tell me about C: I went to the museum. ALT: Oh, you went to the museum! C: Yes. I saw very old house. ALT: Really? Is it small or big? C: It's big. I ate sauce katsu-do ALT: Oh, I want to try it! You had a C: You're welcome!	It was great!	
開(33分)	JTE: Everyone, good job! (ALT)に聞いてもらってどうでしたか? ちゃんと何 C: 伝わってうれしかった。聞いてもらえてうれしかっ JTE: みんなは、(ALT)に話すときに、どんなことに気 C: なるべく目を見て話すようにした。 はっきりと話っては、聞いてくれた(ALT)はどうでしたか? どん C: 私が言ったことを繰り返したり、うなずいたりして C: 質問された。○○が好きかどうかとか。 Niceな JTE: では、聞く人は黙って聞いているだけではなくて、手は安心して話せるんだね。みんなも今度、小斎Communication》ポイントも大事だよね。 C: (ALT)みたいにできるかな? やってみよう!	った。ほめてもらえてよかった。 を付けて話しましたか? すように気を付けた。写真を見せながら話した。 としっかり意識できましたね。 んなふうに聞いてくれましたか? 「聞いてくれた。 どと言ってくれた。 ,繰り返したり,質問したりして反応してあげると,相	壁面掲示 《Good Communication》
	を友達と行う。 ・JTB や指導	ュニケーションを円滑にする要素を意識したやり 注目指し、今度はペアでやり取りをさせる。 ごやALTは、児童の様子を見ながら必要な支援 算を行う。 なじた指導・フィードバック(Ⅳ)	
終末 (5分)	6 Reflection ・めあて ・振り返りシートに記入する。 所や食とがてを与え	E・ALTから児童の活動の様子を褒める。 てに応じた振り返りの観点(修学旅行で訪れた場 食べた物、楽しんだことや感想などを伝え合うこ ごきたか、《Good Communication》を活用できたか) なる。	
一分	7 Greeting	_ w o	

第7時

- (1) 目標

(2)	指導	¹ 過程	※金山スタンダード・英語Verと	
		学習活動	・指導上の留意点	準備物等
		Greeting & 1 Question Small Talk	・全体の挨拶の後、2グループに分かれ、JTE/ALT とそれぞれ挨拶&1 Question (既習表現の定着を図る もの)をする。 ※1対1のやり取り・発言の機会を確保(II) ・前時の活動を想起させながら、次時のテレビ交流に向 けて児童の意欲を高めるようにする。	
導入 (7分)		(C1), where did you go in your s C: I went to JTE: Good. You went to The C2: I ate JTE: Was it good? C2: Yes. JTE: Great. Everyone talked about The next class, you will talk with Do you have some friends in Ko	en, what did you eat for lunch, (C2)? your school trip very well. 16th graders in Kosai elementary school!	壁面掲示 《Good Communication》
	「俏	Good Communication oda y's Goal 多学旅行の思い出をまとめ、 話す・聞く練習をしよう。」	・単元のゴールに迫ってきたことを実感させ、離れた場所にいる相手に伝えることや、楽しくコミュニケーションを図ることを意識させる。 ※STEPS to the GOAL (I)	本時のめあて
	・値	《Let's Read and Write》p.40 多学旅行について,話したい内容や順序を 逐理して書く。	・ワークシートを配布し、行った場所や食べた物、楽しんだことなどを書かせる。なぞり書きや写し書きの形式にし、児童の負担が大きくならないようにする。	
	4	Let's Watch and Think	・JTE自身の修学旅行の話を紹介し、話し方の工夫を 考えさせる。	
			話を紹介します。みんなだったら、話すときにどんなことに気をな、こうすればもっと、テレビの向こうの友達に伝わりやすいだいてみてください。 ・やや不明瞭な声で、手振りや表情等を付けない話し方	修学旅行の写真
展開 (33分)	· J	T E の話し方を見て、改善点を考える。 ・もっと、気持ちを込めて、笑顔で話すといい。 ・ゆっくりはっきり、顔を上げて話す。 ・写真をただ持っているだけじゃなく、	をしてみせる。 I went to Nanukamachi. I ate ice cream. It was delicious. I saw some beautiful candles and colorful Akabeko. I enjoyed shopping. It was nice.	
		話しているときに指さしたら分かり やすいと思う。 ・挨拶をしたほうがいい。"Hi," とか "Thank you." とか。	・気付いたことを発表させる。	
		フークシートに, 話すときに気を付けるポ イントを記入する。	・児童の気付きを褒め、ワークシートに記入させる。 ・児童の気付きを基に改善した話し方をやってみせる。	
		Hi, I'm My school trip! I went to Nanukamachi. Do yo Look at this picture! I ate ice of I ate strawberry flavor. It was What flavor do you like? Look at this. I saw some beau		
			※コミュニケーションを円滑にする要素の指導(皿)	
		Let's Practice D必要な写真などを使って,実際に話す練 習を行う。	 自分達がやり取りをすることを想定させ、使いたい表現があれば、適宜教える。 4で確認した点を意識して練習させる。 ※コミュニケーションを円滑にする要素の指導(皿) 	ホワイトボード 修学旅行の写真等

	※児童の実態に応じた書く活動 ・相手に伝わりやすくするために、ホワイト ボードに簡単な語句や文を書く。	・練習の様子を見ながら、良い点を褒めて自信を持たせ たり、アドバイスを与えたりする。			
	例)I went/I ate/I enjoyed ice cream/mountain/shopping 等				
展開(2	②ペアを作り、話し手・聞き手に分かれて やり取りをする。	・児童の様子から、話し方の良い点や改善点を全体で共有し、やり取りの練習に進む。 ※個に応じた指導・フィードバック(IV)			
33 分	・聞き手は、うなずき、繰り返し質問等《Good Communication》のポイントを意識し、相づ ちを打ちながら聞くようにする。	・前時に学習した、聞く側のポイントを想起させる。	壁面掲示 《Good Communication》		
	③次時の活動の大まかな流れを理解し,自 己紹介や思い出紹介の練習をする。	 ・ビデオ通話を利用する実際の活動と同じような場面設定で1人ずつ練習させ、慣れさせておく。 ・自己紹介(名前+一言)の内容やネームカードを準備させる。 	・ネームカード		
終末(5分	6 Reflection ・振り返りシートに記入する。	・めあてに応じた振り返りの観点(思い出を整理し、話し手・聞き手のポイントを意識して伝え合うことができたか)を与える。	※自己評価ができる 振り返りシート		
分	7 Greeting		(V)		
(3)	ワークシート例				
6 th Grade UNIT5 My Summer Vacation Name Enjoy Communication!					
		dy School Trip			
★相=		My School Trip			
★相= 		My School Trip			
*####################################		My School Trip			
★相 ⁻		Ay School Trip			
★相 ³		My School Trip			
I	手に伝えたい内容を整理して書こう! Went to Gte Hint Box	Ay School Trip wishing the state of the s			
	手に伝えたい内容を整理して書こう! Went to Gte Hint Box (児童がここ	から語句を選んで書けるようにする。)			
	手に伝えたい内容を整理して書こう! Went to Gte Hint Box	から語句を選んで書けるようにする。)			
	手に伝えたい内容を整理して書こう! Went to Gte Hint Box (児童がここ	から語句を選んで書けるようにする。)			

第8時

- (1) 目標

) }	旨導過程	※金山スタンダード・英語Ver.	<u>との関連(I)~(</u> \
	学習活動	・指導上の留意点	準備物等
	1 Greeting & 1 Question	・全体の挨拶の後、2 グループに分かれ、J T E / A L T とそれぞれ挨拶& 1 Question (既習表現の定着を図るもの)をする。 ※1 対1のやり取り・発言の機会の確保(Ⅱ) ※コミュニケーションを円滑にする要素の指導(Ⅲ)	ビデオ通話の接続
The Control of the Co	◆Today's Goal 「小斎小の6年生と修学旅行の思い出を伝え 合おう」	・本時のめあてを提示する。 ・今までに慣れ親しんだ表現を使って、いよいよ単元末 の活動に取り組むことを視覚的に分かりやすく示す。 ※STEPS to the GOAL(I) ・前時までの学習を振り返り、相手により伝わりやすく	
		するための工夫や、コミュニケーションを円滑にする 要素について確認する。 ※コミュニケーションを円滑にする要素の指導(皿)	
	2 Small Talk①Self-introduction・簡単に自己紹介をする。	・通話を開始し、小斎小学校の教師や児童らと英語で簡単なやり取りをする。 ※1対1のやり取り・発言の機会の確保(II)	
	JTE(金): Hello! This is Kaneyama C(金): Hello! JTE(小): Hello! This is Kosai Eler	·	※(金)…金山小 (小)…小斎小
	C(小): Hello!	ss together. First, we'll introduce our name.	ネームカード
		見せながら名前や好きなものを言う	Hana
	②Warm Up 例)	・相手校の児童を互いに2~3名指名し、ALTが既習 表現を用いた簡単な質問をする。	
	JTE(金): Can he(ALT) ask any questi JTE(小): O.K. ALT(金): (名前のくじを引く)□□. Do □□(小): Yes, I do. ALT(金): I like Vanilla ice cream. Ho ALT(小): Now, I'll ask (名前のくじる ※各校 2 名程度 過去形を見	o you like ice cream? ow about you? · · · 윤리〈) ○○. Can you play baseball?	
	3 Let's Talk	・本時の課題と活動の流れを確認する。	活動の流れ(掲示)
	JTE(金): これまでに、小斎小でも金山小でも、 る活動を行ってきました。今日はその る思い出を伝え合う活動に挑戦しま ①ペアで伝え合う 「人 I 人、お互いの顔を見て話をしてもらいま too!" などリアクションをとったり、うなずいた お互いに《Good Communication》のポイン	①ベアで伝え合う (Good Communication) ②ALTクイズ ③振り返り	
	②ALTクイズ Iつのペアが終わったら,聞いていた人たちにしっかり聞いてくださいね。答えられたらIポイ ③振り返り		
	最後に,お互いに今日の振り返りを発表し合		
	. ,	Please tell us! Let's enjoy communication!	
	①修学旅行の思い出について,行った場所 や食べたもの,楽しんだことや感想など について,写真等を用いて伝え合う。	・待っている児童に聞く必然性を持たせるために,クイ ズを設定する。	ホワイトボード 修学旅行の写真なる (前時に作成)
	・各校から1人ずつ前に出て,1対1のやり 取りを行う。(全5組)	・児童の実態を考慮し、教師側でペアや順番を決めてお	

JTE(金): Let's start talking! Who is the first? ALT(金): The first is OO! Please stand here. ALT(小): This is $\triangle \triangle$! JTE(金): O.K. The first pair is $\bigcirc\bigcirc$ and $\triangle\triangle$. Other people, listen carefully and watch ・待っている児童は、クイズに備えて行った ※1対1のやり取り・発言の機会の確保(Ⅱ) 場所や食べた物などをしっかりと聞く。 ※やり取りの例 C1: Hi, OO. C2: Hi, △△. JTE: Thank you, $\triangle \triangle$. Next, your turn. C1: This is my school trip. C 2: I went to Nanukamachi. I went to the Buke-yashiki. C 1: Nanukamachi? Swich C2: Buke-vashiki? C 2: Yes. I ate ice cream. It was cool! C 1: Oh, nice! Do you like ice cream? C1: Yes. I enjoyed archery. It was fun! C2: Archery? Good! C 2: Yes! I like chocolate ice cream. ... C1: I ate sauce katsu-don. It was delicious. C2: Me, too! I ate sauce katsu- don! ・上記のようなやり取りができなくても、話が終わった 後に「It's nice.」「Thank you.」など、一言でも返すこと ※中間評価(全体へのフィードバック) ができるよう支援する。 ・戸惑っている児童への支援をしたり、やり取りの様子 C: ○○君が、はっきりと聞き取りやすく話 を見て褒めたりする。 していて良かった。 ※個に応じた対応・フィードバック(Ⅳ) C: □□さんは,「You~」と繰り返したり, うなずいたりして, 笑顔で聞いていた。 ・待っている児童には、内容を聞きながら友達のやり取 C: △△君のジェスチャーが分かりやすか りの良いところを見付けるよう声掛けし、やり取りが った。 開 終わった後に発表させる。 ※コミュニケーションを円滑にする要素の指導(Ⅲ) 35 分 ②相手校の友達の思い出について、ALT 各校のALTが、自校の児童が話した内容を問うクイ が出すクイズに答える。 ズを出す。正解した児童にシールを与える。 ※1対1のやりとり・発言の機会の確保(Ⅱ) ポイントシール ※クイズの例 ALT: Question No.1. (C1)'s Quiz! What did he eat? C1: He ate sauce katsu-don. ALT: Is it right, (C1)? You ate sauce katsu-don? C1: Yes! I ate sauce katsu-don. ALT: Great! You are right. You can get a sticker! (シールを与える) ALT: Question No.2. What did he enjoy? ... ※2組目以降も同様の流れで行う。 できるだけ、全ての児童が回答できるように配慮して 出題・指名する。 ③活動の振り返りを行う。 ・ビデオ通話で交流をして感じたことや、めあてにどの くらい到達できたかなどを日本語で発表させる。 (挨拶をして交流を終える。) 6 Reflection ・単元の学習を振り返りながら、児童の取組を具体的に ・振り返りシートに記入する。 褒め、次の学習への意欲を持たせるようにする。 末 ・めあてに応じた振り返りの観点(小斎小学校の6年生 振り返りシート (5分 と修学旅行の思い出を伝え合うことができたか、《Good ※自己分析ができる 7 Greeting Communication》を活用したか)を与える。 振り返りシート **(V)**